

科目名	医療社会学					DP1 DP3 DP5	看護高等課程	
学年	2 年	分野	基礎	時間数	10 時間	担当 教員	岩崎 瑞枝	
科目 概要	医療と深くかかわる現代の死において、インフォームドコンセント、告知、痛み、最後の居場所など、私たちを取り巻く関心事を中心に、具体的な事例を多く活用しながら考えていく。また、その人の死によってもたらされる家族の社会的、精神的な変容についても学ぶ。							
到達 目標	1. 自分なりの死生観をもち、生命への関心を深める。							
回数	単元項目		授業内容			形態	担当教員	
1～5	「死」について		日本人の死生観、死生学、医療人類学など学際的アプローチ			講義	岩崎	
	末期がん		現状					
	子どもと「死」		病児と医療保育、親の死と子ども					
	グリーフ（悲嘆）		グリーフとは、グリーフケアとは					
	コミュニケーション		How to Break Bad News「悪い知らせの伝え方」					
評価 基準	100 点満点とし、6 割以上を合格とする。また、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席が必要となる。							
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、課題などで総合して評価する。							
教科書	必要時、資料等は配布する。							
履修上の 注意点	それぞれのテーマごとに、VTRやDVDその他を使用する。							